

「低炭素建築物」完成へ

住まいのウチイケ、適合住宅販売

苫小牧

胆振管内を中心に営業する住宅メーカーの住まいのウチイケ(本社室蘭市、内池秀光社長)は、道内の中小ハウスメーカーとしては珍しい「低炭素建築物」の適合住宅を扱っている。今年は今苫小牧市内でこの春、1棟目が完成する予定。環境に加えてエネルギーコスト面でも優れた住宅として注目を集めそうだ。

同社の住宅は、昨年2省が定めた「低炭素建築物」の基準をクリア。断熱性能や節水対策、生活に必要な消費エネルギーの効率化、二酸化炭素(CO2)排出削減などの項目で、国土交通省が定めた「低炭素建築物」の基準をクリア。断熱性能の高さが特長で、同社の試算によると「建築面積が1322平方メートルの2階建ての場合、1年間の暖房に使う灯油の量が、従来の一般的な木造住宅と比べて約1000リットル削減可能(同社苫小牧支店)と見込んでいる。

の認定は、国が定める検査機関の審査が別途必要(有料)だが、認定がない場合でも構造上の違いはない。ただし「低炭素建築物」の認定を受ければ税制の優遇などメリットもある(2014年1月現在)。

同社は、これまで室蘭を中心に胆振西部で営業を展開してきたが、昨年から苫小牧市内でも低炭素建築物適合住宅を積極的に売り出し中。低炭素建築物のメリットをPRするため、住宅購入者の暖房費を1年間負担するキャンペーンも企画している。

三星が「いちごフェア」

きょうから、直営29店で限定販売

菓子製造販売業の三星(本社苫小牧市)は7日から、市内外の直営29店で「いちごフェア」を開催する。期間中、句のイチゴをふんだんに使った期間限定のケーキやいちご大福、パンなどを販売する。フェアは、句を迎えるイチゴをふんだんに使った「いちごレアチーズ」や「ホワイトストロベリー」シリーズのシュークリーム、「ホワイトストロベリー」シリーズのロールケーキなど、句のイチゴをふんだんに使った期間限定のケーキやいちご大福、パンなどを販売する。



いちごフェアをPRする三星

マンション発売、14年ぶり高水準

13年首都圏景気回復で23%増

不動産経済研究所が発表した2013年の首都圏(東京、神奈川、埼玉、千葉の1都3県)の新築マンション発売戸数は5万6476戸と前年比23%増だった。伸び率は金融危機の反動から大きく伸びた1999年(30・1%増)以来、14年ぶりの高い水準となった。

14年の首都圏の発売戸数は13年並みの5万6000戸と予想。消費税率が8%となる4月以降も、住宅ローン減税拡充などの政策効果に加え、

親向けの婚活講演会

16日、苫信本店で開催

結婚相談所を開設している苫小牧信用金庫は16日午後1時から、苫信本店で子供の結婚に関する親向けの講演会を行う。札幌で婚活支援事業などを手掛けるNPO法人全国結婚・家庭未来塾(結ネッ

苫信は昨年6月に結婚相談所を開設。現在200人近い男女が登録している。結婚に

逃さないのが、ガラスウール製の断熱材に比べて室温が下がりにくく、吸音効果の高さも

た道産針葉樹、天然素材という付加価値が強い。少すす、リピーターが増えてきた。環境と出荷先は

目標

以降、着実に伸びており、工場の稼働時間も増えてきた。出荷先の6割は関東以南の

経営哲学

部長